

ますはら

「神の作品」

「私たちは神の作品であって、神が前もって準備してくださった善い行いのために、キリスト・イエスにあって造られたからです。それは、私たちが善い行いをして歩むためです。」

(エフェソの信徒への手紙 第2章10節・新約聖書346頁)

はじめに

エフェソはパウロが3年あまりに渡り、腰を据えて伝道した町です。当時のローマ国内にあって、ローマに匹敵するような大都市だったと言われ、港を中心とした交易だけではなく、アルテミスの巨大神殿がある宗教都市の一面も持ち合わせていました。

この町にキリスト教の一大拠点ができただけで、エフェソの周囲の町にも教会が設立されていきました。実はこの手紙も、「エフェソ」とはあるものの、エフェソの町を指しているのではなく、周囲の教会をも視野に入れた内容で、回覧されることを前提として書かれていたようです。この手紙の内容は、「キリストの名によって建てられた教会のあるべき姿」を教えたもので、神学においても「教会論」を語るために欠かせない書物になっています。

今回はこの手紙から、教会に連なる私たちの姿を見ていこうと思います。

教会とは

教会とは何かと聞かれたならば、「キリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方が満ちておられるところ」(エフェソ1:23)と答えていただきたいと思います。

教会がキリストの体であるということは、私たちがそれぞれの肢体である、キリストの命を構成している部分であるということです。もしそれがやんでいるならば、全体が傷み、一致していないならば、キリストによってすべてが満たされているという状態が損なわれます。

そこでパウロは、教会の全体を語ると共に、キリストの体を構成している私たち個人にもメッセージを伝えているわけです。

神の作品

作品を造る時、よいものを造ろうとします。神は、私たちが造られました。最高の作品として、造られています。さらに、その作品には目的を持たせています。「善い行いをして歩む」ことです。もし私たちが「神の作品」であることを自覚し、善い行いを実践していくならば、教会はひとつひとつの構成体が強められ、さらに神の恵みが溢れてくることになるのです。

善い行い

では善い行いとは何か、よく一般的にいう「一日一善」のような善行を言っているのではありません。私たちはそれはできません。それはあくまでも、産物であって、目的にしてはなりません。では、この「善を行う」とは何でしょうか。それは「キリスト・イエスに造られた」でわかります。私たちは神によって造られました。しかし、キリストによって再創造されたのです。新しく造られたのは、救いの恵みを喜び、神の国に属する物として歩める幸いを知るためです。この神の賜物によって生きる、それが善を行うことなのです。私たちはどれだけ救いの恵みを喜んで生きているでしょう。神の国の特権を謳歌していますか。それが教会を大きく力となるのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「あなたがたは恵みにより、信仰を通して救われたのです。それは、あなたがたの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるものではありません。それは、誰も誇ることがないためです。私たちは神の作品であって、神が前もって準備してくださった善い行いのために、キリスト・イエスにあって造られたからです。それは、私たちが善い行いをして歩むためです。」(エフェソ 2:8～10)

神さま、私はイエスさまの救いに預かりました。これによって、今まで過ちの罪とのために



死んだ者であり、肉欲のままに生き、ほかの人々と同じように、神の怒りを受けるべき者でした。しかし、このような私のために十字架にかかって、復活されたことにより、神の豊かな恵みを受ける者になりました。新しく造り変えられた者として、この豊かな恵みをこの世に現すことができるように作品として造り直してくださったのです。感謝します。私自身がこの恵みに生きるならば、教会も強められ、大きく成長していくのだと思います。私が「善い行い」に励めるように、導いてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (62) 第3章24節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「身を横たえるときも、おびえることなく 横たわれれば、その眠りは快い。」

◎口語訳 「あなたは座しているとき、恐れることはなく、伏すとき、あなたの眠りはこちよい。」

◎新改訳 「あなたが横たわるとき、あなたに恐れはない。休むとき、眠りは、こちよい。」

「横たわる」

快適な睡眠、これは心身の健康を維持するために重要な課題です。私は決まった時間に寝起きすることを心がけていますが、時としてなかなか寝つけなかったり、また、夜中に起きた時に、考えなくても良いことを思い出し、寝られる状態でなくなってしまうこともあります。

「すっきり寝られるんです!」とかテレビ通販で言われて、枕や敷きマットを変えてみたところで、心に引っかかるようなことがあれば、まんじりともせず朝が来るようなことを繰り返すだけです。

ダビデはサウルやアブシャロムから命を狙われたことがありました。サウルに追われた時には特に、サウルに通じる者たちがどこに潜んでいるかわかりません。実際に、ノブの地にいた祭司アヒメレクのところに身を寄せて時にはエドム人ドエグの密告によって危機に陥っていま

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

す。洞窟に潜んでいても、サウルの軍隊と遭遇するようなことがあり、すんでのところでも安全な距離を保つことができました。それこそぐっすり休むことなどできなかったはずです。ところが、「私の苦しみのなんと多いことでしょう。…しかし…私は身を横たえて眠り、目覚めます。主が私を支えておられるから。」(詩編 3:6)と詠んでいます。息子のソロモンは、このようなダビデを思いつつ、父が子を諭す言葉の中に含んだのでしょう。快い眠りを得られる信仰を持ちたいと思います。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】 ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

ヨシュア記第15章63節「ユダの一族は、エルサレムの住民であったエブス人を追い出せなかったため、エブス人はユダの一族と共にエルサレムに住み続け、今日に至っている。」◆なぜ追い払えなかったのか。エブス人が魅力的な物があり、それと引き替えに和睦を結んでいたのか、また、もうここまでやったのだからとの妥協が、戦う力を失せさせたのか、とにかく、彼らは「エブス人」を残した。これはあとになって問題が生じる原因となった。罪はすべてきよめなければ、増殖する。徹底的に神に従うためには、徹底して罪を悔い改めなければならない。

●賛美 / 339 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】 ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

ヨシュア記第16章1節「ヨセフの一族にくじで割り当てられた地は、エリコの近くのヨルダン川から、エリコの水場の東へ、エリコから荒れ野を上り、ベテルの丘陵地帯に至る。」◆エジプトの宰相にまでなり、イスラエルを救ったヨセフは、意外にも部族として名前が残っていない。彼の息子たち、マナセとエフライムが代わって部族となすようにとのヤコブの思いだったのだろう。ヤコブの祝福の祈りでもわかる。そして、ここでも、2つを合わせたその継承地はどの部族よりも大きかった。ヨセフの功績はこうした形で見られる。神の祝福は後の世代にも受け継がれていくのだ。

●賛美 / 340 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】 ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

ヨシュア記第17章16節「山地だけでは私たちに十分ではありません。しかし、谷間に住むカナン人は、ベト・シエアンとその周辺の村落の住民も、イスラエルの平野の住民も皆、鉄の戦車を持っています。」◆ヨセフの子孫2部族だが、残念ながらヨセフの信仰を受け継いではいなかった。カレブは14章で、「私は勝つことができる」と宣言しているが、2部族は「土地は広くても、山地が多い」と不平を言っている。平地はあったが、そこに住む「カナン人」を恐れ、平地に入ろうとしなかったからだ。ヨシュアは「追い払える」と言ったが、結局、妥協してしまった。

●賛美 / 341 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

ヨシヤ記第18章2節「彼らの中には、まだ相続地を割り当てられていない七つの部族が残っていた。」◆相続地は戦いとらなければならぬものだったが、この7部族は相続地を取っていくことに、積極的ではなかった。さまざまなことが考えられるが、いずれも「主の御旨」に忠実な態度でなかったことは確かである。たとえば、教会で呼びかけられた伝道や奉仕は、教会の働きとして重要であるものの、参加しなくてもすんでしまう。理由は様々あるだろう。しかし、それもまた、主に対し、忠実な態度ではないといえなくはない。

●賛美／342 ●祈禱課題
◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。
◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

ヨシヤ記第19章9節「シメオンの一族の相続地は、ユダの一族の割り当て地からのものであった。ユダの一族の割り当て地が大きすぎたため、シメオンの一族が彼らと共に相続地を受け継いだのである。」◆なぜシメオンの部族はユダの中に相続地があったのか。恐らく、創世記34章のレビとの暴虐な行為が原因だ。部族としては残ったが、その時、悔い改めなかったことで、レビも各部族の中に住み、仕える部族となったし、シメオンもユダに吸収され、各部族の中に散っていったと考えられる。神は侮られる方ではない。しっかりと悔い改めるべきである。

●賛美／343 ●祈禱課題
◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。
◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。
◆高齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

ヨシヤ記第20章2節「イスラエルの人々に告げなさい。私がモーセを通してあなたがたに告げておいた逃れの町を定めなさい。」◆原則として「目には目、歯には歯」を償わなければならなかったため、故意ではなく結果的に殺人を犯してしまった者が殺されることのないように、6つの逃れの町が用意された。これは民数記でもふれたが、神の哀れみをあらわす場所でもあった。私たちが自らの罪に恥じ、また自責の念にとらわれた時、逃れの町に行くべきである。私たちの行くべき逃れの町とは神のものである。

●賛美／344 ●祈禱課題
◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。
◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

ヨシヤ記第21章45節「主がイスラエルの家に告げられた恵みの言葉のうち、実現しなかったものは一つもなく、ことごとく成就した。」◆イスラエルには武器もなく鍛えられた軍隊もなかった。砂漠でさまよっていたわけだから、何か製造できるわけでもなく、40年間、「無力」であったに違いない。しかし、アマレクが襲ってきた時もそうだったが、不思議な方法で勝利し、守られてきたのは、神がイスラエルに対し、約束を与えておられたからだ。神は真実である。その約束を成就すべく、イスラエルに働いておられた。御言葉の約束は必ず成就すると信じよう。

●賛美／345 ●祈禱課題
◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。
◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ししき 6:1~40】

「ギデオンのしょうめい」

(ししき 6:12)

リーダーになるひとは どんなひとでしょう。ちえがあったり、みんなをあかるくしたり、みんなのはなしをよくきいてあげる、またゆうきのあるひと、なんでもできるひと。いろいろあげられるかもしれません。

でも、このししきにでてくるギデオンはそんなひととはぜんぜんちがうひとでした。

そのころ、イスラエルのひとたちはミデヤンのひとにかつことができませんでした。だから、いつもミデヤンのひとははたけにみのりができたころに やってきては、イスラエルのひとたちが いっしょうけんめいにつくってきた むぎや やさい、くだものを ぜんぶ うばっていったのです。

「ミデヤンじんが きた」と きくと、いちばんさいしよに にげていたひとが ギデオンでした。しかも、こわくて ガタガタしながら かく

れていたのです。たたかおうとする ゆうきもなく、おくびょうで、きが よわいひとでした。ひとのまえにでるのも、できないような ひっこみじあんでもありました。

ところが、かみさまは そんな ギデオンに「ちからある ゆうしよ」とこえをかけられたのです。ギデオンは じぶんのことだとは おもいませんでした。だって「ちから」もありませんし、「ゆうし」でもないとしていたからです。

でもかみさまは「わたしが ともにいる。ミデヤンじんと たたかいなさい」といわれるではありませんか。ギデオンは「わたしは よわいものです」などと いっしょうけんめい いいわけをいいましたが、かみさまは、ギデオンともにいる ことをしめす しるしを みせてくださり、「おそれるな」といわれました。

ギデオンは、かみさまが ミデヤンじんと たたかひのために、じぶんにはたらくように いわれていることを しんじました。そして、たちあがったのです。

●かんがえてみよう

☆ギデオンの じだい、イスラエルを いじめていたのは どのくにですか。(ししき6:1)

☆ギデオンは しゅのつかいから なんと いわれましたか。(ししき6:12)

☆ギデオンは なんと いって こたえていますか。(ししき6:15)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

ちからあるゆうしよ

	あ		よるち			ゆ		
ら	う		か	し	るよ			
ち		よ	ゆ	う		かし		
					し			
			し			あう		
		る	う			よ		
	ち		しゆ	あ	よ			
		あ	ち	う	か	ゆし	る	
し	ゆ		ら			か	ち	あ

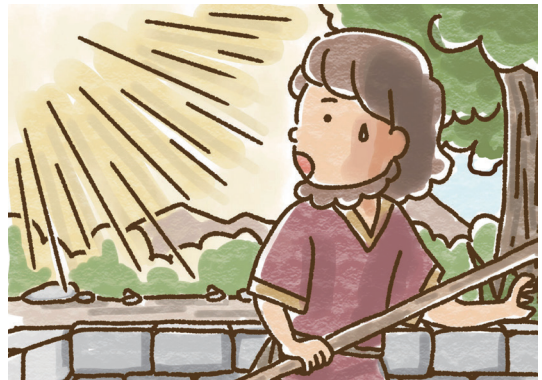
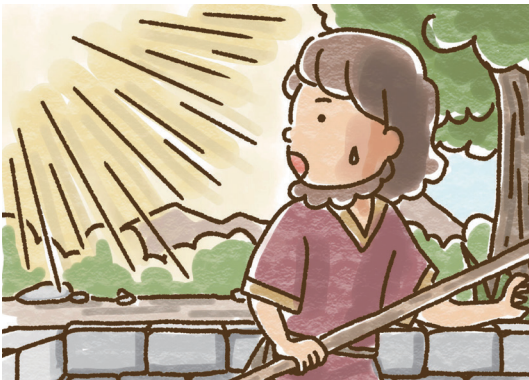
ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① やればまくのが
- ② へいしゆのわ
- ③ ちのりのみ
- ④ みでんや

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「迷い婆」

海外 Wi-Fi は、Wi-Fi 機器の周辺しか反応しませんから、10 メートル以上離れば、もうスマホを持っていても、LINE は通じませんし、何の検索もできません。機器を持っているのは私ですから、絶対に離れないように言い聞かせていたのですが、ある地下鉄駅で改札に入った後、家内がいなくなりました。

駅構内を捜しましたがいないので、地下鉄に乗ってしまったのだと思いました。そうなるとうけいに予測が難しくなります。さすがに見捨てて帰ること

もできず、帰国もできなくなる可能性もできます。五里霧中でした。

そんな中で、試しにと思って携帯に電話をかけてみたところ、「つながった!」のです。国際電話扱いになったのかどうか、仕組みは分かりませんが、とにかく、「愚かな妻」の所在がわかりました。台北市内を取っていた宿泊先に帰ろうとしたらしく、数駅離れた台北駅にいたのです。しかし、台北駅、新宿駅同様、広く複雑、しかも家内は自分のいる所を説明できません。そこで、出口番号を教え、そこでじっとしているように伝えましたが、結局、それもできず、発見までかなりの時間かかってしまいました。

荒れ野の旅で迷ったら、即、死です。

聖書ふれあい街歩き

●オフラ

ギデオンの記事の中に出てくるアビエゼル人のオフラとあるのは、ベニヤミン族のオフラと区別するためだと考えられます。

天の使いが現れた場所として登場し、ギデオンはここで召命を受けました。士師記 6 章 11 節に出てくる「ヨシュア」は、ギデオンの父で、マナセの部族に「アビエゼルの一族」ができますので、(ヨシュア 17:2) この一族の末裔であることがわかります。

当然、オフラはマナセ部族の相続地の一部で、正確な位置は特定できませんが、ヨルダン川西岸の山岳地帯だと考えられています。つまり、サマリアと言われている地域です。ギデオンはここで生まれ、生計を立てていました。いくらかの畑も所有していたのでしろうし、「絞り場」とあるところから、オリーブの栽培もしていたと考えられます。この作業場もオフラにあったわけです。

ギデオンはよほどオフラに思い入れがあったのが、戦いに勝った後、戦利品を集めさせてエフォド(祭服)を作り、「自分の町オフラに置いた」(士師記 8:27) ののですが、結局、後になって偶像礼拝の対象となって、ギデオン家は祝福を失っていくことになりました。

ななめ聖書 先週のこたえ

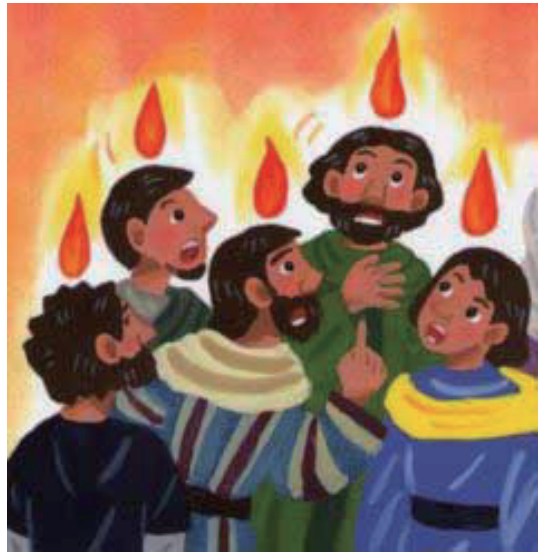
れ	ち	そ	か	う	の	ぶ	ぞ	く
か	う	ぞ	く	れ	ぶ	ち	の	そ
の	ぶ	く	ち	ぞ	そ	う	れ	か
ぞ	そ	の	う	か	ち	く	ぶ	れ
ぶ	く	う	ぞ	の	れ	か	そ	ち
ち	か	れ	ぶ	そ	く	ぞ	う	の
う	れ	ぶ	そ	ち	か	の	く	ぞ
く	の	ち	れ	ぶ	ぞ	そ	か	う
そ	ぞ	か	の	く	う	れ	ち	ぶ

- ① よんじゅうごねん
- ② とうじとおなじ
- ③ ていさつ
- ④ すこやか



聖霊の賜物

アポロがコリントにいたときのことである。パウロは、内陸の地方を通してエフェソに下って来て、何人かの弟子に会い、彼らに、「信仰に入ったとき、聖霊を受けましたか」と言うと、彼らは、「いいえ、聖霊があるということなど、聞いたこともありません」と言った。パウロが、「それでは、どんな洗礼(バプテスマ)を受けたのですか」と言うと、彼らは、「ヨハネの洗礼(バプテスマ)です」と言った。そこで、パウロは言った。「ヨハネは、自分の後から来る方、つまりイエスを信じるようにと、民に告げて、悔い改めの洗礼(バプテスマ)を授けたのです。」人々はこれ聞いて、主イエスの名によって洗礼(バプテスマ)を受けた。パウロが彼らの上に手を置くと、聖霊が降り、彼らは異言を語ったり、預言をしたりした。この人たちは、皆で十二人ほどであった。(使徒言行録19:1~7)



聖霊が降った時、弟子たちは

【聖霊の賜物】

エフェソに来たパウロが最初に会った弟子は、エフェソの教会を支えていた人たちだったと思われます。「12人ほど」と、正確な数でなかったのは、著者のルカに伝える際、パウロが覚えていなかったからでしょうが、それでもパウロが12といったのは、12弟子のような役割をしていたから、またはそのように活躍をしてほしいとの願いがあったからかも知れません。

さて、聖霊が降って、「彼らは異言を語ったり、預言をしたりした」とあります。時々聞かれるのですが、特に「異言」とはいったいどのようなものなのでしょうか。

使徒たちが聖霊を受けた時、一同は「霊が語らせるままに、他国の言葉で話した」(使徒2:4)とあります。これが「異言」です。それを聞いた人々は「見る、話をしているこの人たちは、皆ガリラヤの人ではないか。どうして、それぞれが生まれ故郷の言葉を聞くのだろうか。私たちの中には、パルティア、メディア、エラムからの者がおり、またメソポタミア、ユダヤ、カパドキア、ポントス、アジア、フリギア、パンフリア、エジプト、リビアのクレネ側の地方に住む者もいる。また、滞在中のローマ人、ユダヤ人や改宗者、クレタ人やアラビア人もいるのに、彼らが私たちの言葉で神の偉大な業を語っているのを聞こうとは」(同2:7~11)と述べています。ローマによって交易が東西に広がっていた時代、エルサレムにも様々な地方から、様々な言語を持った人々が集まってきたことがわかります。不思議なことです。そこにいた誰もが、弟子たちの話している言葉を母国語として聞いていたのです。

誰かが「パルティア語」を話し、他の人が「メディア語」を話していたのではなく、弟子たちが話した言葉が、聞く人には母国語に聞こえたということです。これは、あの言葉を散らされたバベルの塔事件の回復でもありました。ですから、この賜物の存在ゆえに、主イエスは、「ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てまで、私の証人となる」(使徒1:8)とおっしゃったのです。

カリスマ派、ペンテコステ派が言う「異言」は感情の高まりによってもたらされる発声であり、ここにある異言とは全く違うものです。彼らの発する言葉は他人のみならず本人も理解できません。その意味を解けると言う人もいますが、解く者によって違、合致しません。

パウロがエフェソにいる時に書いたとされているコリントの信徒への手紙には異言について書いてある箇所がありますが、どうも「異言」はこの当時から、使徒の時とは違う、感情が高ぶった時に出てくる発声に変わっていき、本来の「異言」ではなくなっていたようです。ですからパウロは「異言」よりも「理性によって」語る言葉を重視するようになっています。

様々な箇所を総合すると、異言は「誰にも理解できる言葉」であり、使徒たちが受けた時と、他に特別な状況で与えられ時だけにのみ与えられた賜物と言えます。「預言(ここでは、使命を帯びて神から直接聞き語るようにいわれたこと)は廃れ、異言はやみ、知識も廃れます」(コリント一13:8)とされているように、異言の賜物は役割を終えたことにより、現代では「やんでいる」のです。

預言も異言もなくなったのは、主イエスが私たちの賜物とされているからなのです。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日からの最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

